

寒い！ だから!! いいものがある!!!

お宝発見 下北ジオパーク



vol. 3 (2019年1月号) 毎月20日発行

お宝No. 3 仏ヶ浦展望台 (佐井村)



2018年12月10日撮影

冬の奇勝を見るならココ!

下北随一の観光地であり、天然記念物に指定されている仏ヶ浦。奇岩の雪景は見事ですが、冬季は観光遊覧船もなく、積雪のため国道から歩いて降りるのは夏より大変。そんな時にはこの展望台へ!

仏ヶ浦展望台 (ほとけがうらてんぼうだい) の情報

- 所在地 青森県佐井村
- 交通 津軽海峡文化館アルサスより
車で約35分
- 駐車場 あり(約5台)
- トイレ あり(冬季閉鎖)
- 車の往来や転倒に注意のこと。



下北の“冬” Pick Up!



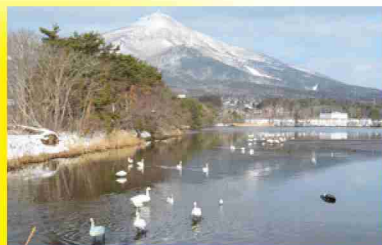
旬のマダラ

12~2月はむつ市脇野沢地区から佐井村で漁獲されるマダラが旬を迎える。冷たい水を好むマダラは、この時期産卵のため静穏で水深が浅く藻場の広がる陸奥湾へやってくる。正月に欠かせないマダラは、陸奥湾があるからこそ獲れる地域の名産である。



白鳥の飛来

下北には毎年11月下旬にオオハクチョウが飛来し、3月上旬まで各地で越冬する。特に「大湊湾の白鳥」は青森県の天然記念物に指定されている。海上自衛隊大湊航空隊入口付近が絶好の観察スポット。(鳥インフルエンザウイルスの媒介となる可能性があるため、餌やり禁止。)



【ジオ Info.】 仏ヶ浦の岩は雨や波による侵食のほか、冬季に岩表層の水分が凍るときにも削れるそうです。

「第2回 下北ジオパーク学習・活動発表会」

12/1(土) プラザホテルむつを会場に、2回目となる「下北ジオパーク学習・活動発表会」を開催しました。今回は小学校3校、中学校1校、高等学校2校、地域団体1つから学習内容や活動状況について発表いただきました。地域の方から学んだ郷土芸能の披露や発表前の漫才など、素晴らしい発表とともに様々な形で会場を沸かせていました。



「第二田名部小学校学習報告会」

12/5(水)、第二田名部小学校の5年生が国語の授業で取り組んだ「下北ジオパークの保全」について自分自身の考えを深めてまとめた意見文を、下北ジオパーク推進協議会会長である宮下むつ市長や協議会関係者へ報告しました。

国語の教科書の「世界遺産 白神山地からの提言」の学習をもとに、下北ジオパークに置き換えて子どもたちが意見を交わし合い意見文を書き上げました。国語でジオパークを取り扱った例は他では見られず、先進的な事例となりそうです。

「下北地域農泊セミナー ランナーズヴィレッジ・ワークショップ」

農山漁村の暮らしの体験や地元の人々との交流を通じて地域の魅力を味わっていただき、下北の滞在につなげようと今年度、当協議会では各種事業を進めております。

12/5(水)にはNPO法人わくわく体験群馬サポートセンター理事長の中村文彦氏をお招きし、農泊の基礎知識に関するセミナーを開催しました。

12/11(火)には日本各地で活躍されている地域づくりプロデューサーの木谷敏雄氏をお招きしてランナーズヴィレッジ・ワークショップを行い、脇野沢地域のお宝についてみんなで話し合いました。



編集後記

「人の振り見て我が振り直せ」10・11月は日本ジオパークの再認定審査が行われる期間でした。東北では八峰白神ジオパークが再審査を受ける年であり、審査の様子を見学させていただきました。再審査に備えるとともに、他地域との見比べによって下北地域の良さや取り組みの進捗などを振り返ることができました。雪が降るほど寒くなってきたので、南方のジオパークへ視察(避寒)行きたい気分です。(石川)